Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism





令和3年6月7日

スマートフォンアプリケーション(GPS機能)を活用した 北海道における日本人の周遊・滞在状況

~アプリ利用者の位置情報(GPSデータ)から2019年と2020年を比較~

国土交通省北海道開発局では、スマートフォン用アプリケーションのGPSデータを活用し、2019 (令和元)年と2020(令和2)年における日本人のアプリ利用旅行者(※)の北海道内の動向について比較した結果を整理しましたので、お知らせします。

北海道開発局では、これまで北海道を訪れた外国人ドライブ観光客に関する分析を行ってきましたが、今般株式会社ナビタイムジャパンが運営するスマートフォン用アプリケーション(ウォーキング・歩数計)「ALK00 by NAVITIME」及び各種検索サービスから取得した位置情報等を活用して、2019年と2020年の北海道内の日本人アプリ利用旅行者の動向について初めて比較整理を行いました。

<2019年と2020年の比較による主な整理結果>

- 2020年のアプリ利用旅行者は道内各地で減少傾向となり、<u>道内居住者より道外居住者の減少</u> 傾向が大きかった。
- 2020年の道内居住者のアプリ利用旅行者は、リニューアルオープンした一部の「道の駅」や 「温泉地」の他、全道各地の屋外施設等において特に増加傾向となった。
- 〇 アプリ利用旅行者数を月別に比較すると、<u>2020年6月に減少率が最大</u>になったものの、<u>7</u> 月以降、徐々に減少傾向は回復し、<u>10~11月には主要な観光地を有する一部の振興局管内に</u> おいて前年を上回った。

国土交通省北海道局及び北海道開発局では、第8期北海道総合開発計画(H28~R7年度)の中間点検において、「まずは道内や国内、続いてインバウンド需要の早期回復を図るため、感染症対策のもと、国内外の感染症の状況を見極め、需要を喚起しつつ、国内旅行とインバウンドの両輪により、オール北海道で世界水準の観光地の形成を目指す。」とされたこと等を踏まえ、引き続き、世界水準の観光地の形成に向けた取組を推進してまいります。

※アプリ利用旅行者: 道内居住者は土日祝日・長期休暇(年末年始・お盆等)・祝日の間の飛び石連 休の平日、道外居住者は全日を対象日として、同一1kmメッシュ内に30分以 上連続して滞在した者。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311 開発監理部 開発連携推進課 開発 企画官 鈴木 武彦(内線5433)開発監理部 開発連携推進課 開発専門官 鎌田 耕司(内線5441)



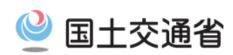


スマートフォンアプリケーション(GPS機能)を活用した 北海道における日本人の周遊・滞在状況

~アプリ利用者の位置情報(GPSデータ)から2019年と2020年を比較~

令和3年6月

北海道開発局





北海道における日本人の周遊・滞在の概要①



取得データ諸元

次の条件において北海道内で取得したアプリ利用者の位置情報を以下「アプリ利用旅行者」という。

◆利用スマートフォン用アプリケーション:

『ALKOO (あるこう) by NAVITIME』 (ウォーキング・歩数計アプリ) (GPSデータ)

◆比較年: 2020年·2019年 (暦年)

◆対 象:①道内居住者(土日祝日・年末年始、お盆等・祝日との間となる飛び石連休の平日)

②道外居住者(全日)

◆取得位置情報(GPSデータ):同一メッシュ内(1Km)に30分以上連続した滞在を1カウント

アプリユーザの状況

○2020年のアプリ利用旅行者は 約53千人で前年比▲32.1%。

(道内▲20.9%、道外▲55.4%)

※全国のアプリ利用旅行者数は2020年 と2019年に大きな増減は無し。



△アプリ利用旅行者の 年別道内道外割合

□ ALKOO (あるこう) by NAVITIMEアプリユーザーの道内・道外居住者割合 ※本データ整理では日別のアプリユーザ数(延べ人数)を集計

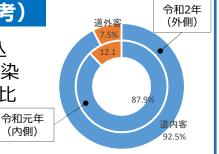
	アプリ	# \d #			
区分	令和2年	令和元年	差分	増減率 (%)	
道内居住者	41,689	52,688	▲ 10,999	▲ 20.9	
道外居住者	11,294	25,306	1 4,012	▲ 55.4	
計	52,983	77,994	▲ 25,011	▲ 32.1	

北海道観光入込客数(参考)

○2020年の北海道の観光入込 客数は、新型コロナウイルス感染 症の世界的流行により、前年比

▲34.0%。

(道内▲30.6%、道外▲59.2%)



△北海道観光入込客数の 年別道内·道外割合

□ 北海道観光入込客数の道内・道外割合

(出典:北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道開発局作成)

(内側)

区分	北海道	1 24 		
	令和2年	令和元年	差分	増減率 (%)
道内客	3,221	4,639	1,418	▲ 30.6
道外客	261	640	▲ 379	▲ 59.2
計	3,482	5,279	1 ,797	▲ 34.0

北海道における日本人の周遊・滞在の概要②



分析概要

<2019年と2020年の比較による主な整理結果>

- ①2020年のアプリ利用旅行者は道内各地で減少傾向(特に宗谷管内、日高管内)となり、<u>道内居住者(約2割減)より道外居住者(約6割減)の減少傾向が大きかった</u>。(P1、P3図3 参照)
- ②2020年の道内居住者のアプリ利用旅行者は、リニューアルオープンした一部の「道の駅」や「温泉地」の他、全道各地の屋外施設等において特に増加傾向となった。



※全データ及び道内居住者については増加したメッシュのうち増減率が50%以上. 道外居住者については増減率が10%以上のメッシュにおける主な施設を記載

③アプリ利用旅行者数を月別に比較すると、2020年6月に減少率が最大となったものの、7月以降、徐々に減少傾向は回復し、主要な観光地を有する釧路管内では10~11月、渡島管内では11月において前年を上回った。(P6 参照)

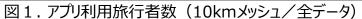
北海道における日本人の周遊・滞在の概要③

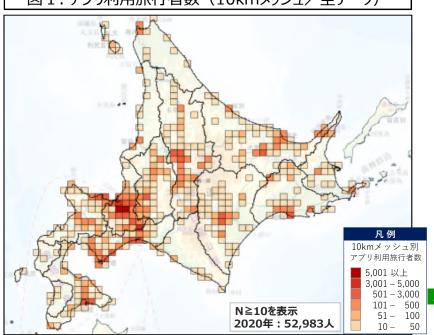


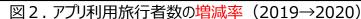
周遊・滞在の概況:<u>全データ</u>

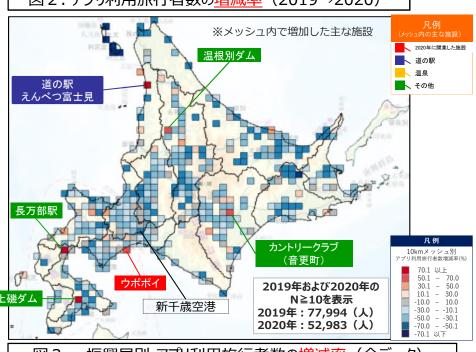
※同一1kmメッシュ内に30分以上連続して滞在したGPSデータを集計

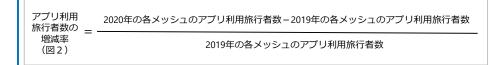
- ①2020年の<u>道内+道外居住者のアプリ利用旅行者</u>は、<u>北海道内各地を広域に周遊</u>。(図1、図2)
- ②2020年と2019年のアプリ利用旅行者数を比較すると、新千歳空港を含むメッシュでの減少率が高い傾向が見られる。(図2)
- ③振興局管内別では、日高、宗谷、オホーックの減少率が多い傾向が見られる。(図3)













北海道における日本人の周遊・滞在の概要4

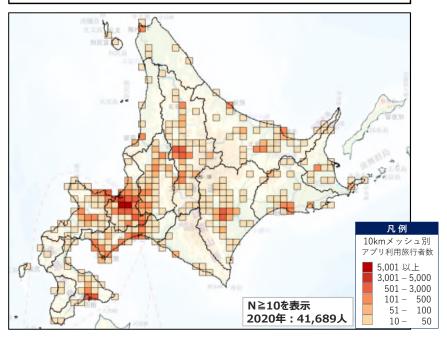


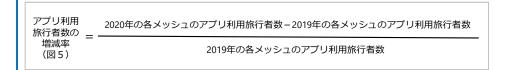
周遊・滞在の概況:道内

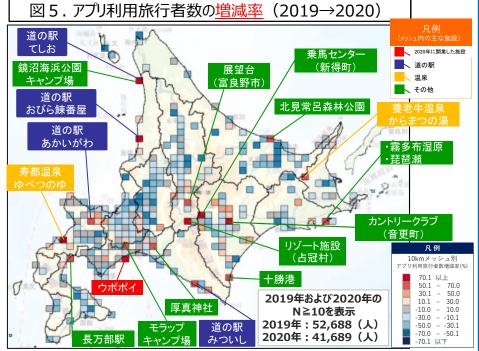
※同一1kmメッシュ内に30分以上連続して滞在したGPSデータを集計

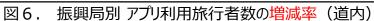
- ①2020年と2019年の<u>道内居住者のアプリ利用旅行者数</u>を比較すると、<u>北海道内各地で減少傾向</u>であり、振興局管内別にはオホーツク、宗谷の減少率が多い傾向が見られる。(図5, 図6)
- ②一方、<u>増加しているメッシュ</u>を見ると、2020年7月に<u>新たに開業した「ウポポイ」のほか、リニューアルオープンした</u> 一部の「道の駅」や「温泉地」、屋外施設等において特に増加傾向となった。(図5)

図4.アプリ利用旅行者数(10kmメッシュ/道内)











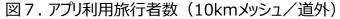
北海道における日本人の周遊・滞在の概要⑤

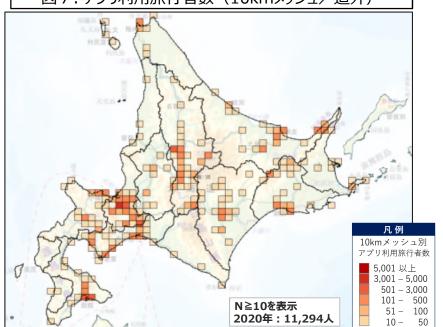


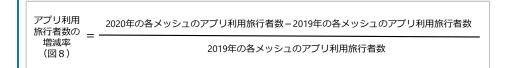
周遊・滞在の概況: 道外

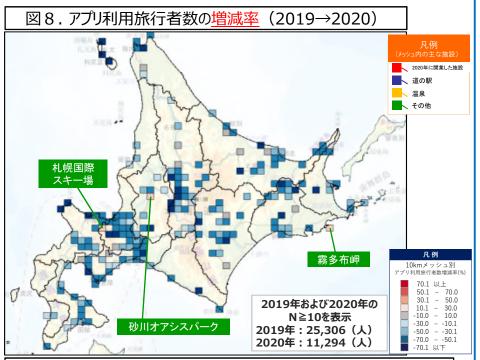
※同一1kmメッシュ内に30分以上連続して滞在したGPSデータを集計

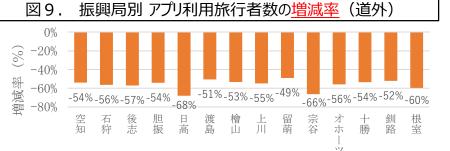
- ①2020年と2019年の<u>道外居住者のアプリ利用旅行者数</u>を比較すると、北海道内各地で減少傾向が大きかった。 (図8, 図9)
- ②一方、<u>増加しているメッシュ</u>を見ると<u>札幌国際スキー場、砂川オアシスパーク、霧多布岬</u>等の<u>郊外部で特に増</u>加傾向となった。(図8)











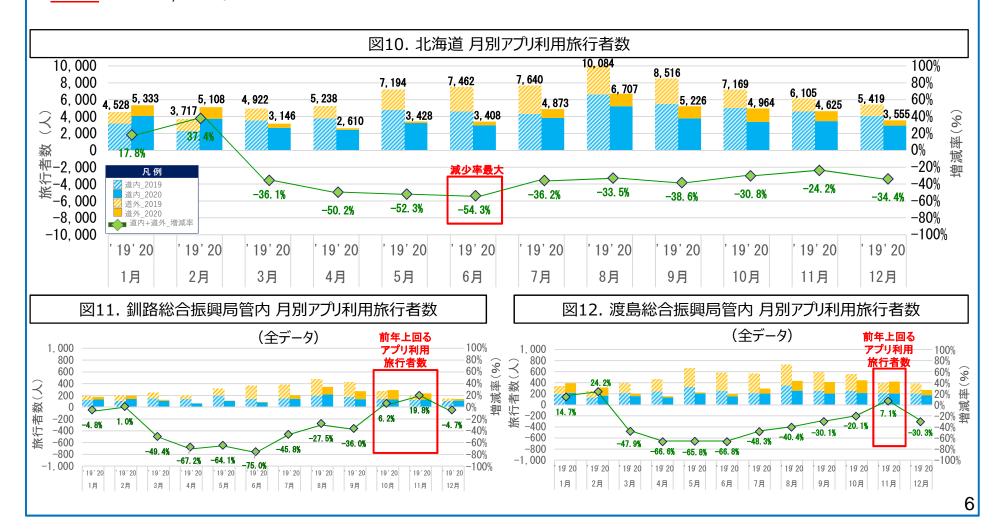
北海道における日本人の周遊・滞在の概要⑥



月別旅行者の整理

※同一1kmメッシュ内に30分以上連続して滞在したGPSデータを集計

- ①全道におけるアプリ利用旅行者数は6月の減少率が最大となり、7、8月以降は回復傾向となった。(図10)
- ②また、主要な観光地を有する釧路、渡島総合振興局管内では、全道と同様に4~6月の落ち込みが大きくなった一方で、釧路管内は10~11月、渡島管内は11月に2019年のアプリ利用旅行者数を上回る結果となった。(図11, 図12)



(参考資料) 北海道における日本人の周遊・滞在の概要

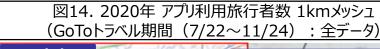


観光地周辺の動態:ウポポイ(胆振:白老町)

※同一1kmメッシュ内に30分以上連続して滞在したGPSデータを集計

①令和2年7月に開業したウポポイの所在する白老町の月別アプリ利用旅行者数を見ると、開業した7月以降に増加し、特に8月、10月、12月は2019年よりも比較して多い傾向が見られた。(図13, 図14, 図15)







【参考】
2020年 ウポポイ入場者数 (7/12~12/31)
約19万6千人
(公益財団法人アイヌ民族文化財団 提供)

50. 0% 0. 0% 0. 0% -15% -23% -12% -7% -7% -7% -7% 10% -7% -7% -7% -71

(参考資料)北海道における日本人の周遊・滞在の概要



経路検索データからみる移動需要

※(株)ナビタイムジャパン運営の各種検索サービスデータを使用

7.000

1.000

【目的地カテゴリの変化】 (R2.4.7-5.25)

対象データ: 全国経路検索利用者による北海道内のスポット別の

目的地検索数

期間 :新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中

 $(4/7\sim5/25)$

分析結果 :・2020年の上記期間の検索数は2019年に比べて減少

・上位10のうち約1/3を自然系スポットが占めている傾向(表2)

【交通手段別の目的地カテゴリの変化】(年間)

対象データ: 交通手段を自動車としたカテゴリ別の目的地検索数

期間 : 2019年、2020年

分析結果:・2020年は2月中旬までは2019年と同程度の検索数

であったが2月末以降に減少(図16、図17)

・2020年は5月下旬から宿泊/温泉、旅行/観光等の

検索数が増加(図17)

・2020年は9月のシルバーウィーク期間に宿泊/温泉、

旅行/観光等の検索数がピーク(図17)

【参考】 北海道独自の緊急事態宣言(2/28~3/19) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言(4/7~5/25)

GoToトラベル期間 (7/22~11/24)

図16. 自動車を交通手段としたカテゴリ別 週別検索数(2019年)

週別検索数=週毎の検索数の合計値

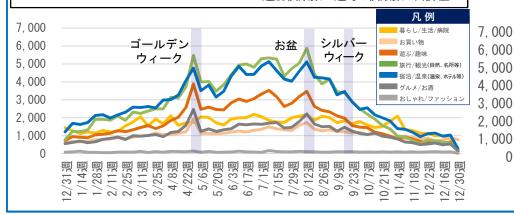


表 2. 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中 (4/7~5/25)の目的地検索ランキング 上位10

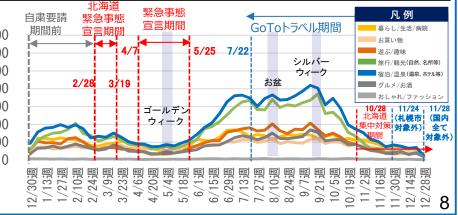
日平均検索数 = 期間内のスポット検索数÷49日(4/7~5/25)

凡例 レジャー/アウトドア 自然 観光名所 工場/工房 スタジアム/スポーツ ショッピングモール 温泉/温泉旅館 旅館/民宿/ホテル 交通

	2019年				2020年			
順	スポット	振興局	日平均検索数	順	2019 年での 順位	スポット	振興局	日平均検索数
1	札幌ドーム	石狩	73.1	1	27	支笏湖	石狩	6.3
2	旭川市旭山動物園	上川	50.9	2	2	旭川市旭山動物園	上川	5.1
3	新千歳空港国内線 ターミナル	石狩	44.7	3	26	襟裳岬	日高	3.6
4	白金青い池	上川	29.9	4	7	登別温泉	胆振	3.4
5	ファーム富田	上川	24.7	5	4	白金青い池	上川	3.2
6	小樽運河	後志	17.7	٥	33	ŧIレ沼公園	石狩	3.2
7	登別温泉	胆振	16.2	7	20	納沙布岬	根室	3.1
8	ニッカウヰスキー 余市蒸溜所	後志	14.7	8	5	ファーム富田	上川	2.7
9	洞爺湖	胆振	14.0	9	13	三井アウトレットパーク 札幌北広島	石狩	2.6
10	五稜郭タワー	渡島	12.6		1	札幌ドーム	石狩	2.6

図17. 自動車を交通手段としたカテゴリ別 週別検索数(2020年)

週別検索数 = 週毎の検索数の合計値



(参考資料) 北海道における日本人の周遊・滞在の概要



アプリ利用者数の増減傾向(通年)

※GPSデータは同一1kmメッシュ内に30分以上連続して滞在したデータを集計。 道内、道外居住者とも全日を対象(但し、日常的な移動は除く)。

- ①2020年4月中旬以降、全ての期間におけるアプリ利用者数(※)は2019年より減少。アプリ利用者数は2020年5月下旬以降に回復傾向がみられたものの、その後は道内約20~40%減少で推移し、道外は最大96%減少から4%増加と乱高下した。
- ②2020年4月中旬から5月下旬の期間のうち、<u>ゴールデンウィークにおけるアプリ利用者数の減少率が最大で、道内+道外の全体で約6割減少、道外で約9割減少、道内で5割減少</u>となった。
- ③道外居住者のアプリ利用者数は、2020年5月下旬以降も回復する様子は見られなかった。しかし、2020年7月下旬以降に上向きとなり、2020年11月に2019年と同等レベルまで回復した。

